

# 松田町立小学校校舎建設事業



## 松田町立 松田小学校

所 在 地：神奈川県足柄上郡松田町松田庶子204

敷 地 面 積：10,924.05 m<sup>2</sup>

発 注 者：松田町

設 計：前田建設工業・計画・環境建築・類設計室  
関野建設 設計・建設工事共同企業体

意 匠 設 計：計画・環境建築・類設計室

構 造 設 計：類設計室・桜設計集団構造設計室

電 気・機 械・設 備 設 計：類設計室

防 耐 火 設 計 協 力：桜設計集団一級建築士事務所

工 事 監 理：計画・環境建築・類設計室監理共同企業体

施 工：前田建設工業・関野建設 建設工事共同企業体

電 气 設 备 工 事：中電工

机 械 設 备 工 事：川本工業

木 造 工 事：中東

■木 造 西 棟（普通教室）	木造3階建
面 積	1,726.10m <sup>2</sup>
■木 造 東 棟（職員室・特別支援教室・特別教室等）	木造3階建
面 積	1,889.00m <sup>2</sup>
■木造メディア棟（共用部・図書館）	木造3階建
面 積	590.48m <sup>2</sup>
■RC 体育館棟（給食室・音楽室・体育館）	鉄筋コンクリート造
面 積	1,587.27m <sup>2</sup>
■RC コア 棟（トイレ・エレベーター）	鉄筋コンクリート造
面 積	494.46m <sup>2</sup>

### 『松田と共に育つ 新しい学びの樹』

本事業は、文部科学省の推進する『木の学校づくり』モデルを目指す  
準耐火構造の木造3階建で校舎（木三棟）です。  
地域の木となり、町の成長を牽引する事業として『松田と共に  
育つ 新しい学びの樹』をコンセプトに事業が進んできました。  
これから全国に普及していく木の学校づくりモデルを目指し、  
構造は最も標準的な在来軸組工法を使用しています。  
防耐火は、建築基準法による1時間準耐火基準で、メンブ  
ン防火と燃えしろ設計を組み合わせています。



## 全体概要

2



昭和初期：木造の校舎

50年ぶりに昔の場所に校舎が戻る事業



令和4年まで・鉄筋コンクリート造の校舎



新しい木造校舎

## 学びの遷宮

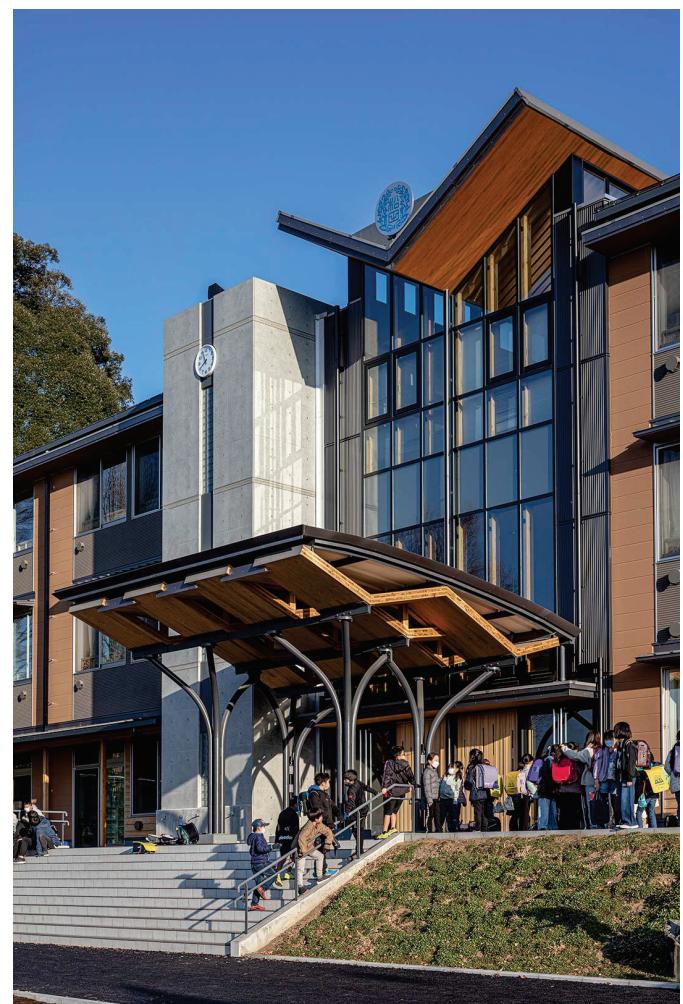
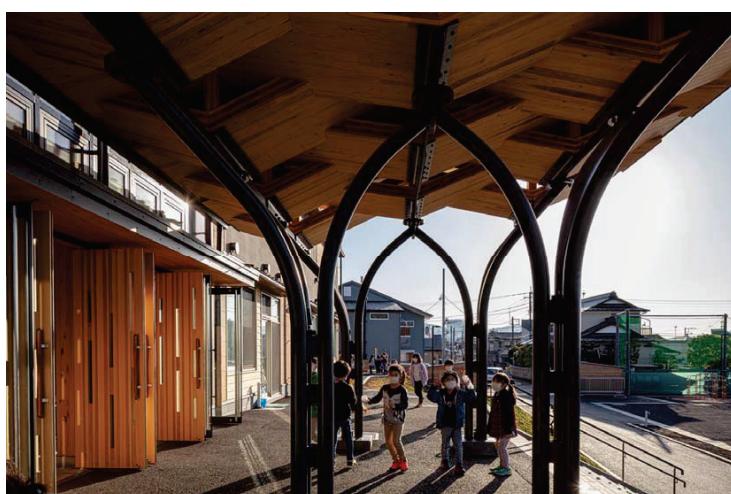
3



松田小学校

## 校舎概要

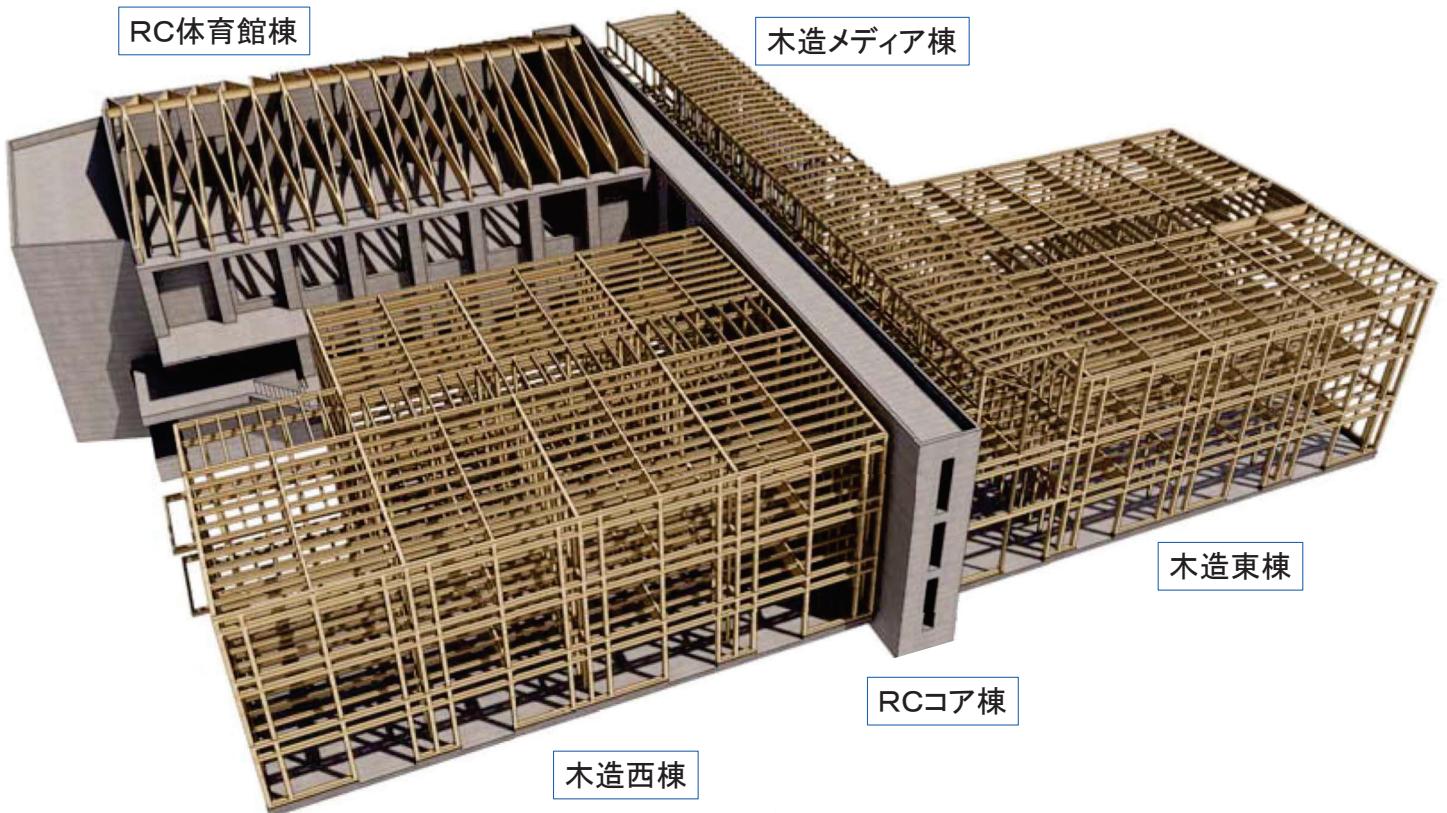
4



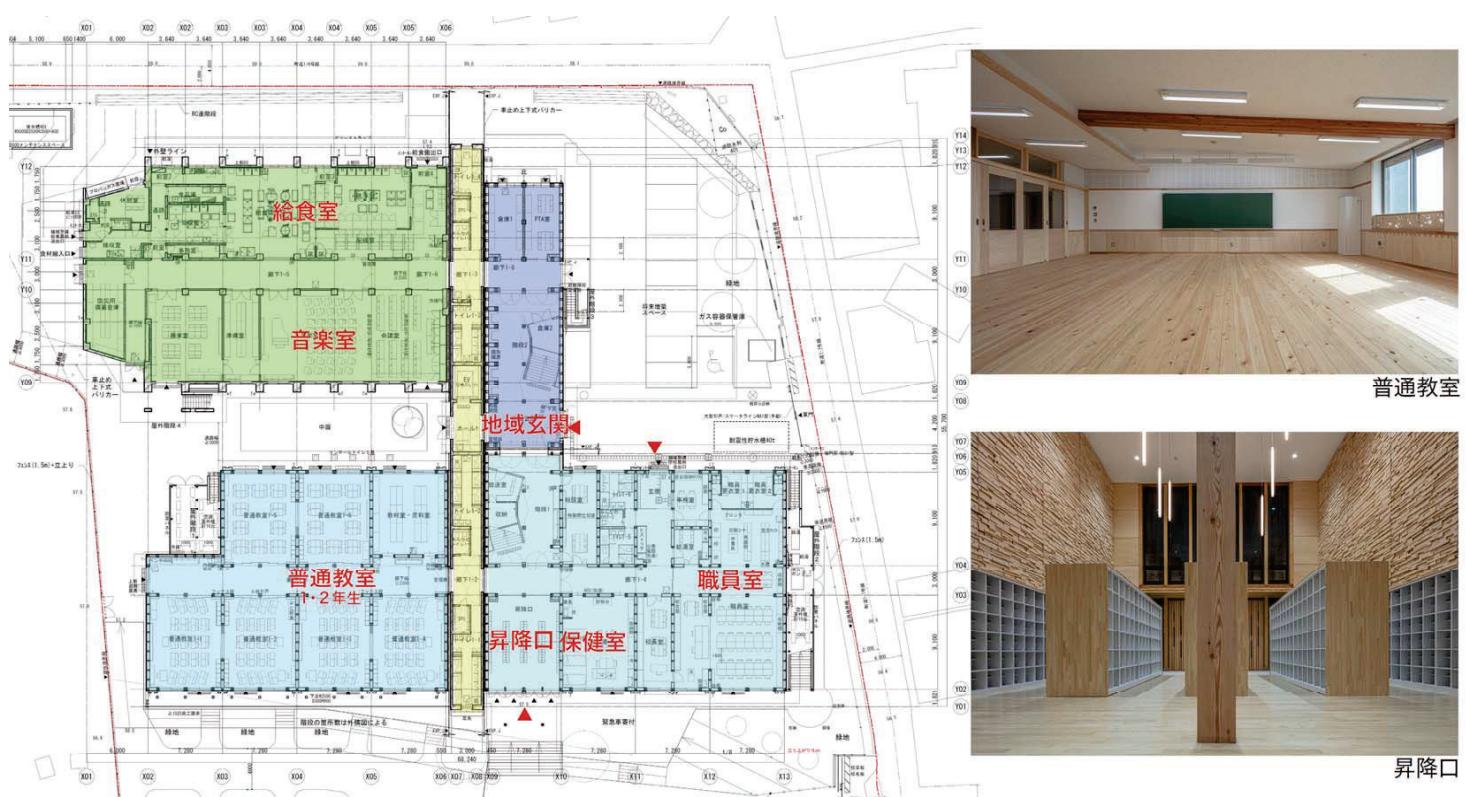
松田小学校

## 校舎概要

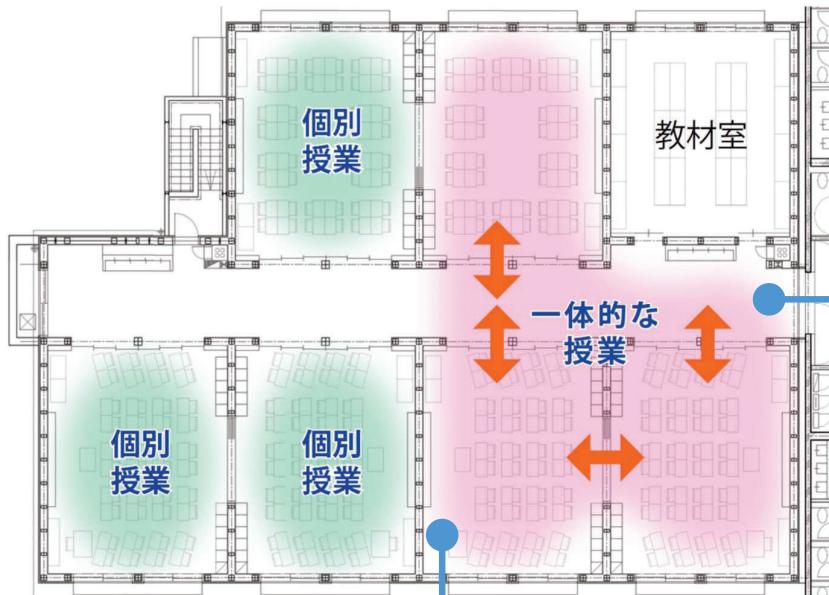
5



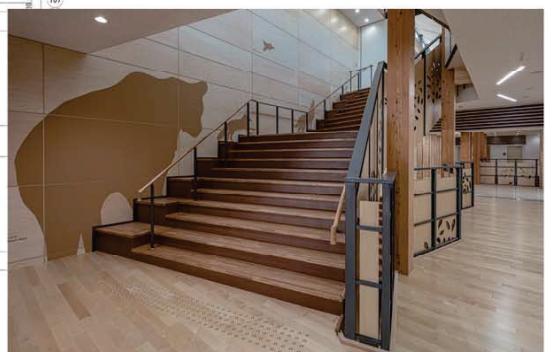
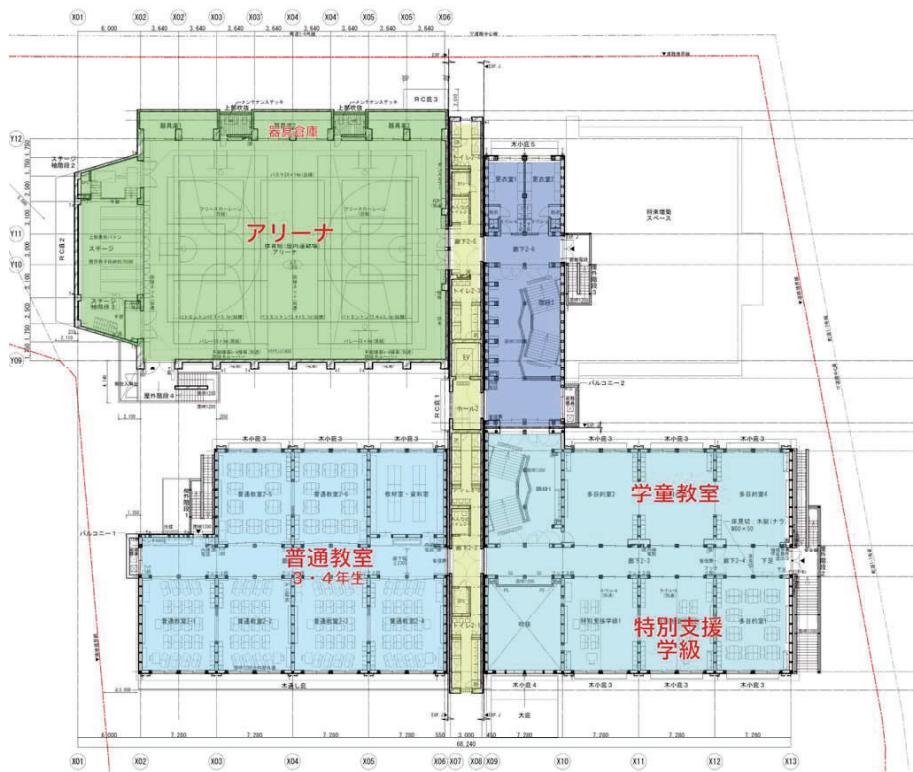
構造フレームモデル



1階 平面図



多様な学びに対応する教室



2階 平面図



メディアセンター



理科室



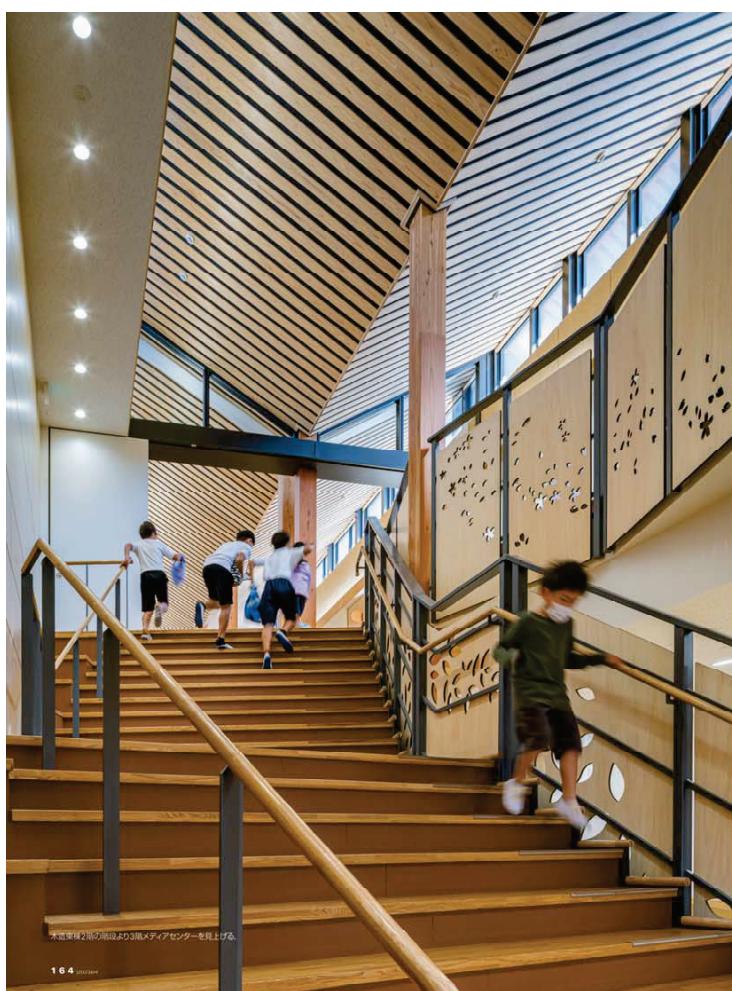
図工室

### 3階 平面図

松田小学校

## 校舎概要

10



木造棟2階の階段より3階メディアセンターを見上げる。

164



木造棟2階の階段より3階メディアセンター。館内八段目と耐火被覆を併合させ、開口部を構成した。

165

## ■ 木材の使用数量 (2021年10月時点)

業者名	工種	棟別	全体木材使用量	国産材使用量	国産材CLT
中東	木軸工事	全棟	765.4	537.7	3.4
ナイス	木造作工事	西棟・アリーナ棟	73.0	39.5	—
中部建設	木造作工事	東棟・メイア棟・コア棟	15.8	11.2	—
丸吉産業	フローリング工事	全棟 (アリーナ内壁は県産材)	90.3	68.6	町産材: 10.3 県産材: 35.4
ナイス					—
阿部興業	木製建具工事	全棟	13.0	0.1	—
合計			957.5	657.1	3.4

松田小学校

## 木材の使用量

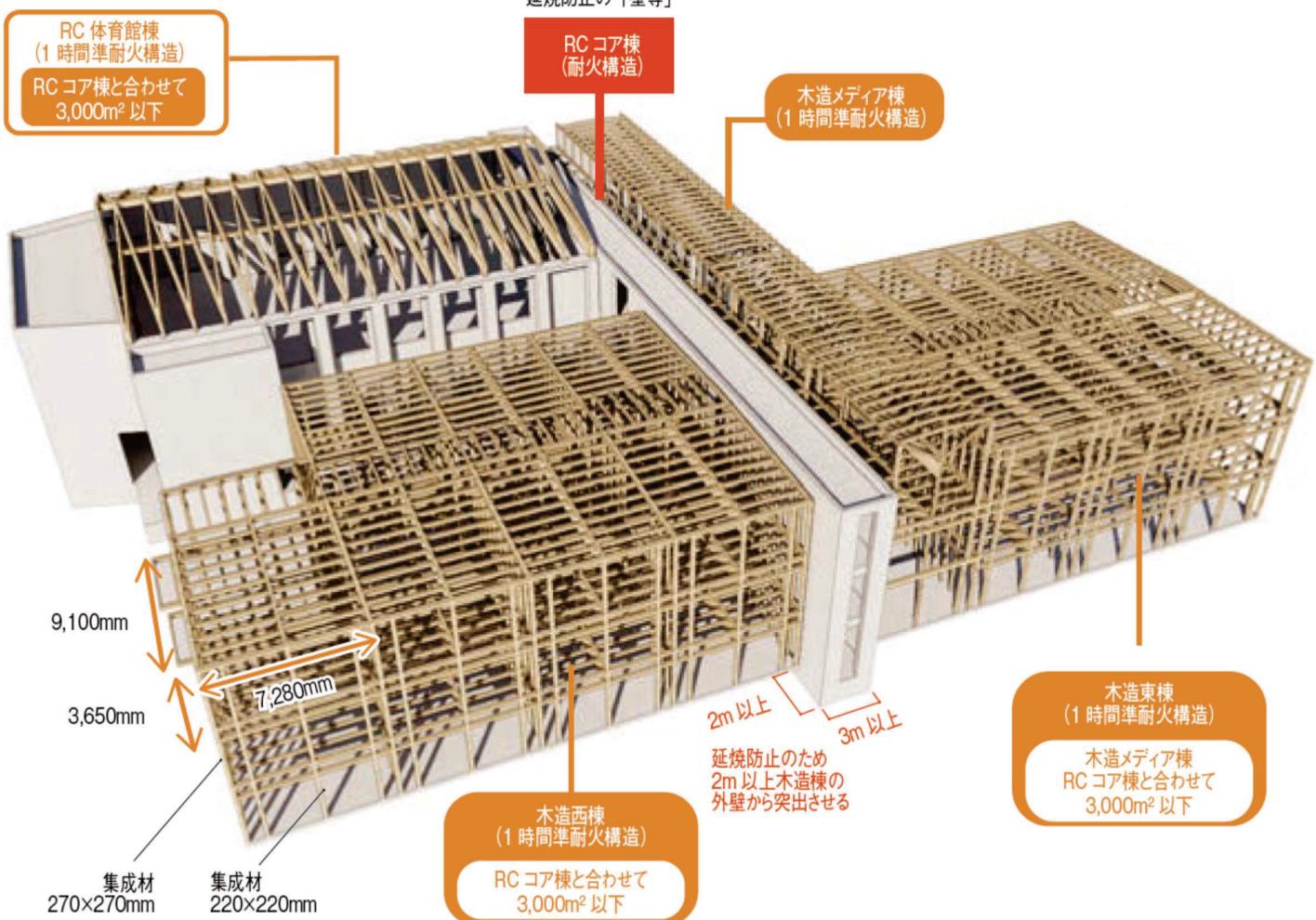
12

建築工事費(b) (注4)	1,990,900 千円 (税抜、用地費・解体工事費除く) うち補助事業費: 合計 1,101,578 千円 事業名: 学校施設環境改善交付金 補助金額: 981,409 千円 事業名: 公立学校施設費国庫負担金 補助金額: 11,322 千円 事業名: 子ども・子育て支援施設整備交付金 補助金額: 61,628 千円 事業名: 地震対策緊急整備事業補助金 補助金額: 15,777 千円 事業名: 神奈川県子ども・子育て支援施設整備交付金 補助金額: 15,428 千円 事業名: 市町村地域防災力強化事業費補助金 補助金額: 6,881 千円 事業名: 木造公共施設整備事業補助金 補助金額: 9,133 千円			
木材使用量(c)	957.5 m <sup>3</sup>			
単位床面積あたりの コスト(b/a)	267,313 円 / m <sup>2</sup>	単位面積あたりの木 材使用量(c/a)	0.15 m <sup>3</sup> / m <sup>2</sup>	
主な木材使用部位・ 部材と使用樹種、產 地等	柱・梁: 欧州赤松集成材、カラマツ集成材 (長野県) 耐力壁間柱: 杉製材 (石川県) 耐力壁・床板: カラマツ構造用合板 (石川県) 杉構造用合板 (島根県) CLT: 杉 (石川県) 土台: ヒノキ製材 (三重県) 母屋・垂木: ベイマツ 有孔合板: 杉 (神奈川県) フローリング: ヒノキ (町産材・県産材) / スノーバーチ			

(令和6年度 木材利用推進コンクール 応募資料より抜粋)

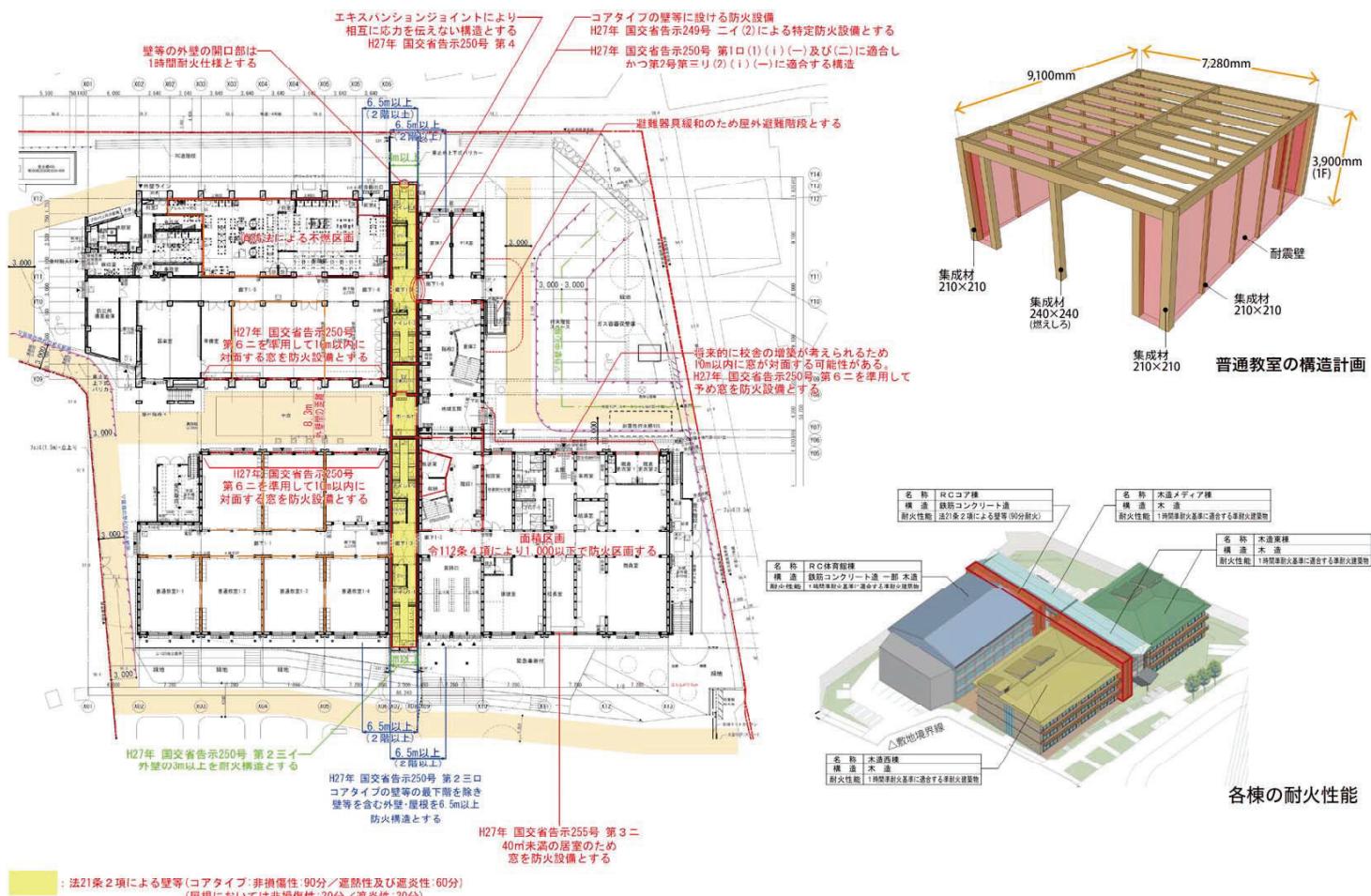
年	令和元年						令和2年						令和3年						令和4年						令和5年								
月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事業工程							仮囲い・グラウンド解体						工事：16ヶ月						解体・外構:12ヶ月						新学期								
設計	与件調整						基本設計・実施設計																										
敷地調査	地質調査																																
建設工事							地盤改良 基礎・躯体						木軸 建方						内外装 仕上						検査								
解体 グラウンド 外構工事													足場組・内装解体						既存校舎 解体						グラウンド 外構工事								

## 防耐火の法令



## 法令

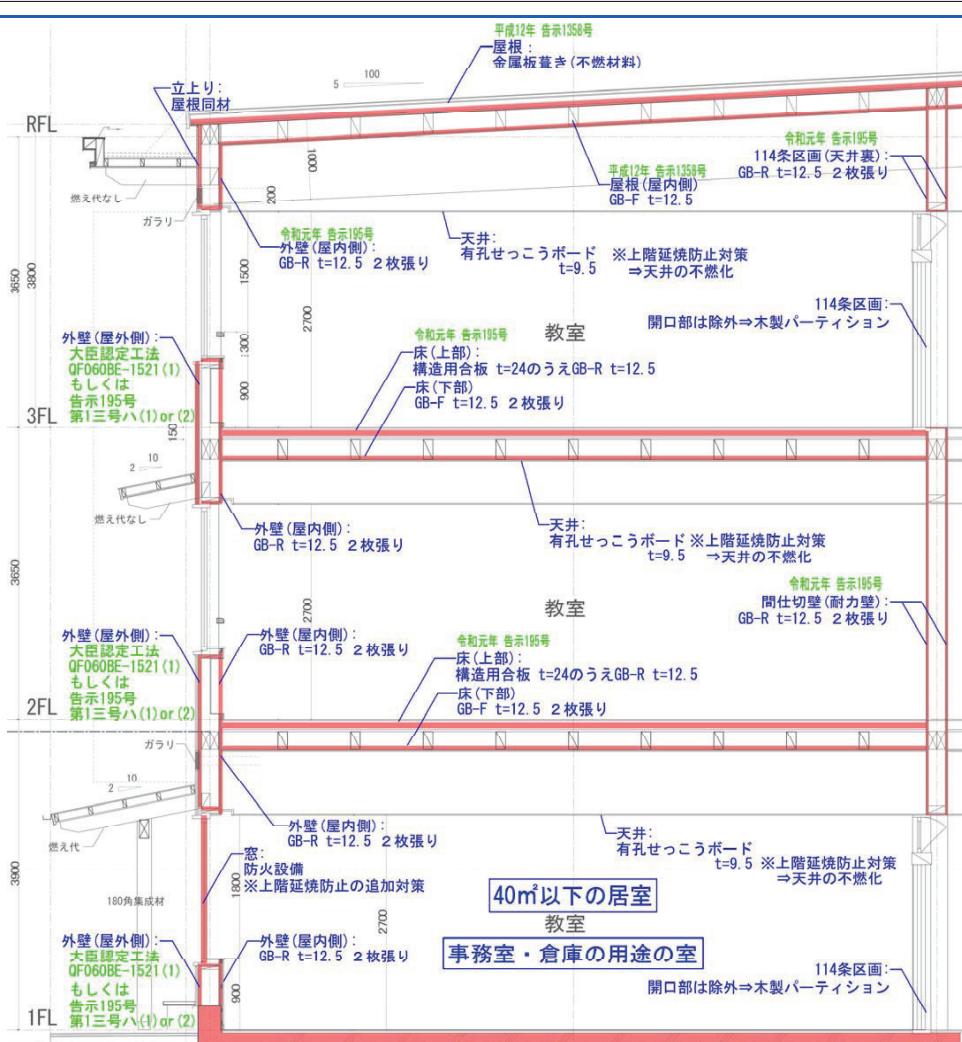
16



## 防耐火の配慮事項 (法令対応)

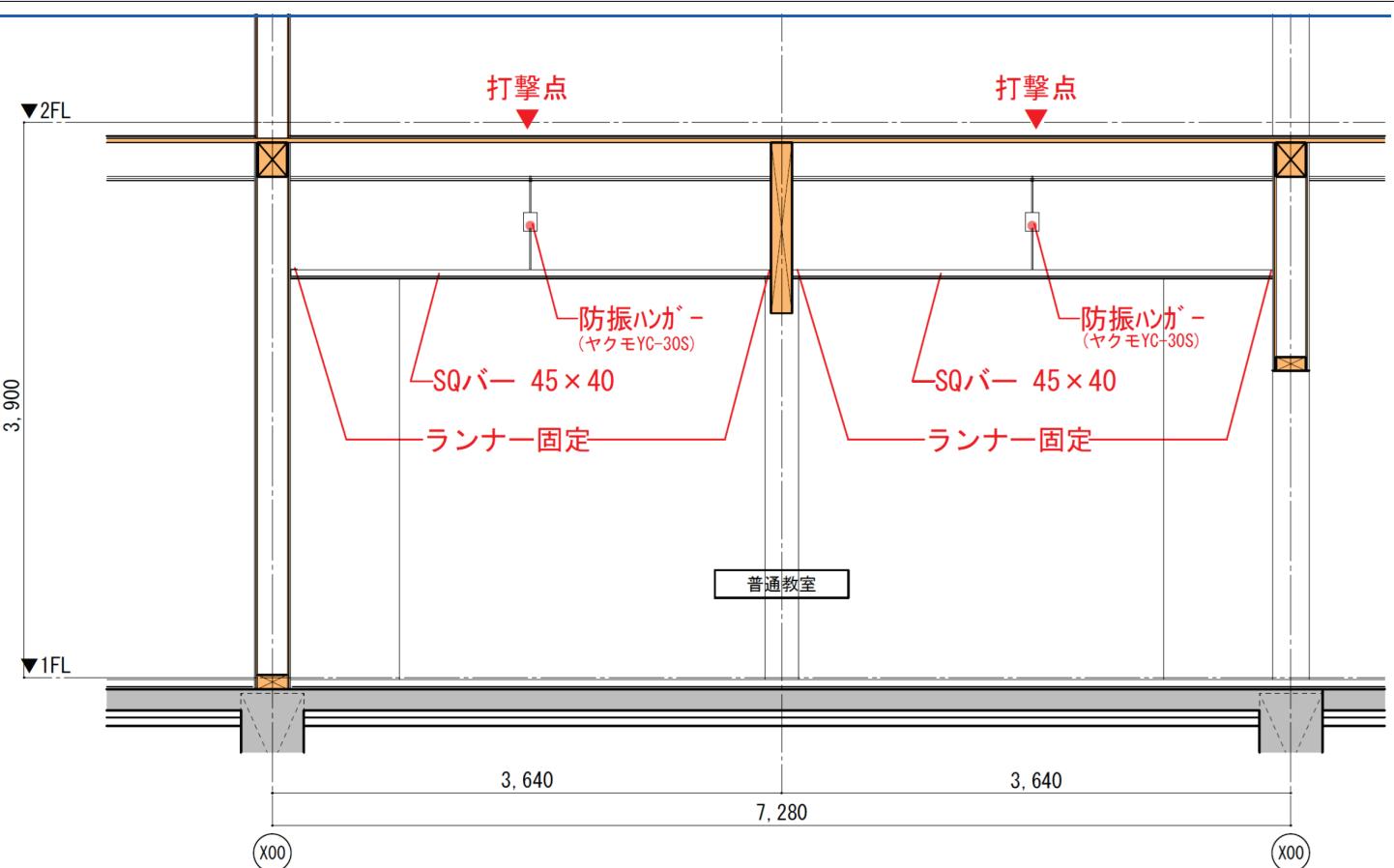
木造3階建て学校の標準を目指す

17



準耐火構造 防火被覆の概要 18

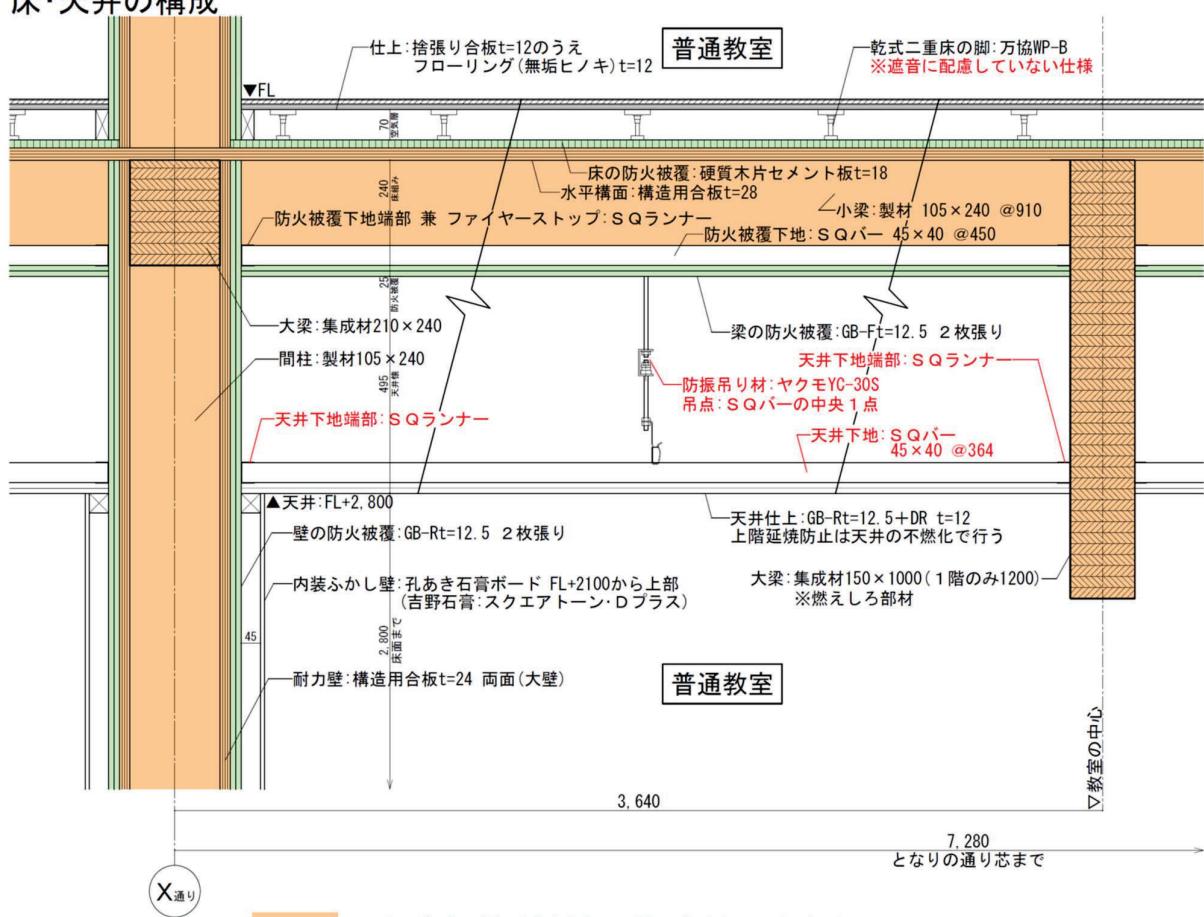
## 床遮音性能の確保



採用工法  
断面図

## 普通教室：吊り天井にしない工夫 20

### 床・天井の構成



：木造躯体(製材・集成材・合板)

：防火被覆材

## 普通教室：吊り天井にしない工夫 21



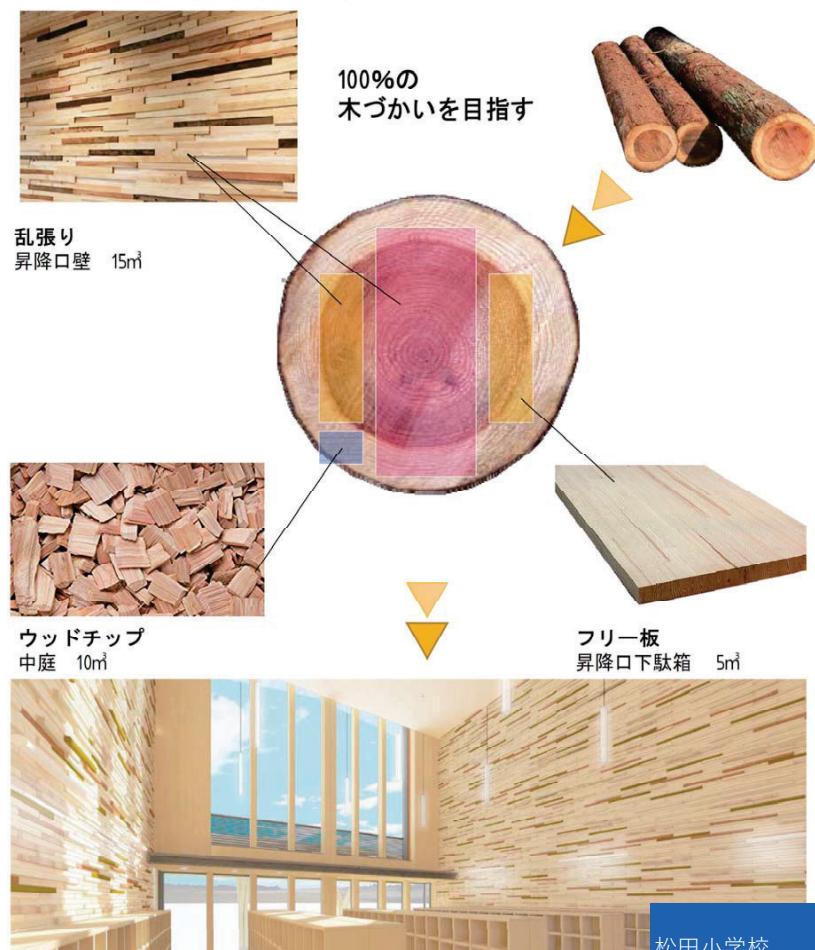
校舎西棟 床遮音性能測定(完成時) 令和3年1月18日

22

#### ■町有林材の利用イメージ

##### 3. 【活用内容】

- 町有林は30m<sup>3</sup>程度の丸太を伐採予定です。
- 丸太から木取りをする際には30m<sup>3</sup>の木材を余すことなく使いきれるように、適材適所の使い方を検討します。





24



25



26



27

令和3年6月21日～28日

## 梁の寄せ書き

28





木造東棟 児童の寄せ書きが棟持ち梁に

30

令和3年7月12日

児童見学会



児童見学会 木の学校クイズ

令和3年7月12日

32



町民見学会

令和3年7月17日

33

令和3年9月27日～10月4日  
ワークショップ

34





ワークショップ

令和3年9月27日～10月4日

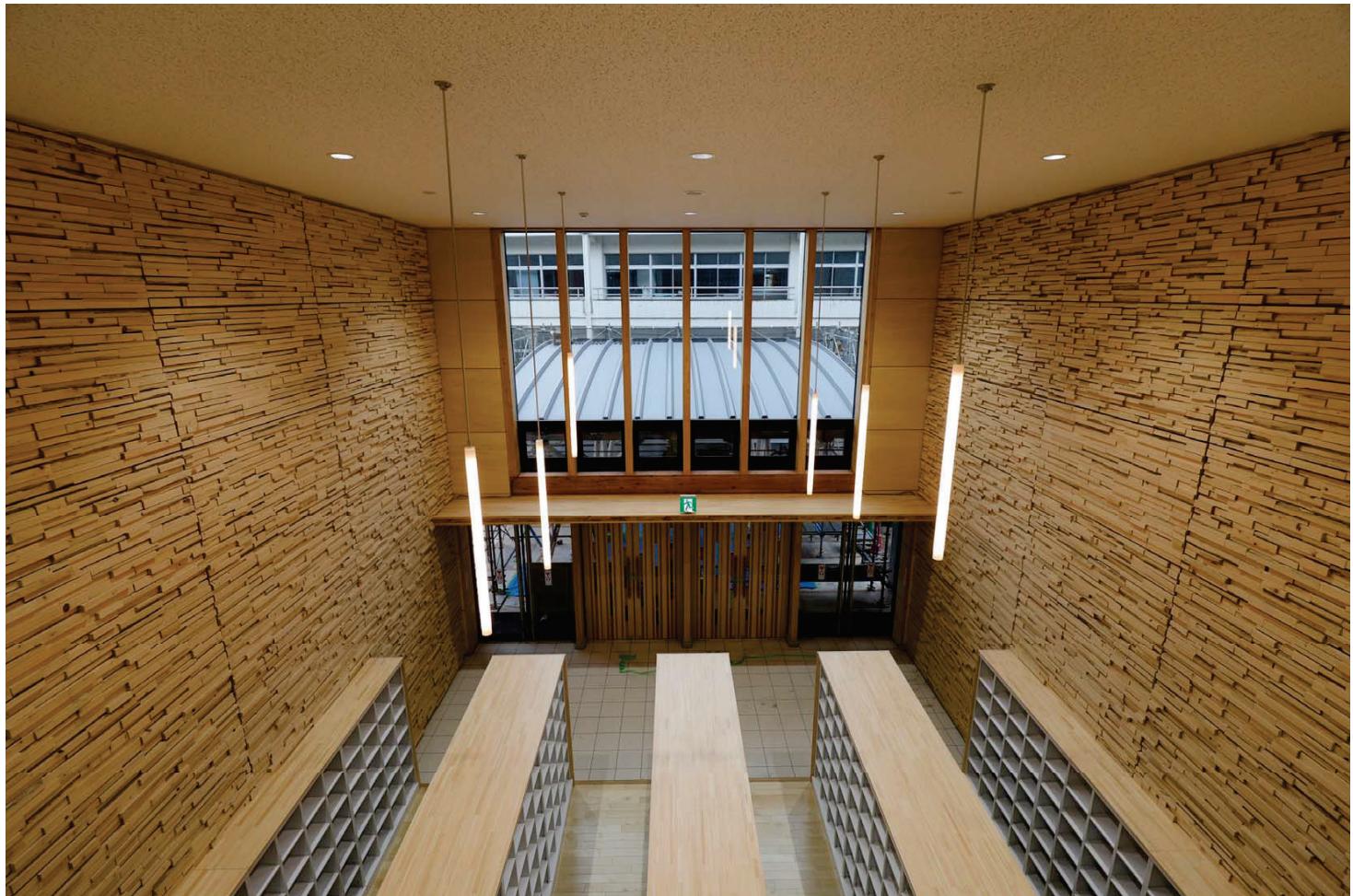
36



ワークショップ

令和3年9月27日～10月4日

37



昇降口両翼の内装壁は 全校児童が作った作品 38